

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・岡田健一・早川昇三・南川達彦・黒光ひさ・鈴木和彦
調査実施年月日	平成29年1月24日
調査先 自治体名等	埼玉県八潮市
調査項目	八潮市町会自治会への参加を進めるための条例について
調査目的	八潮市の条例制定、現状について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：87,082人 3,984世帯 高齢化率：22.84% 市民平均年齢：43.4歳(H29.1.1現在) 行政面積：18.02km²</p> <p>2 視察内容 八潮市では、町会自治体への加入及び参加を進めるための条例について視察を行った。</p> <p>はじめに、制定経過、条例の内容、条例の特徴、加入促進に関する協定、町会自治会連合会の活動、八潮市加入促進事業について説明を受けた。</p> <p>内容については、現在、44町会自治体があり、世帯数は増加傾向で人口も年間約1,000名増加している状況にあり、増加している世帯数に対する加入率が右肩下がりで平成28年54.9%となっている。平成23年7月自治基本条例を施行、平成25年4月町会自治体への加入及び参加を進めるための条例施行、町会自治体への加入及び参加を進めるための条例の内容としては、目的、基本理念、地域住民の役割、集合住宅における町会自治会、事業者の役割、町会自治会の役割、市の役割・財政上の措置、住宅供給等に関わる人の取り組みとなっており、制定の経過は町会長・自治会長から提案のあった地域で抱える諸問題について意見交換があり、未加入世帯を加入させる説明方法、マンション世帯の取扱いなどについて話し合わせ、後にアンケートを実施し、条例を必要と答えた町会自治体は44団体中24団体、不必要と答えた町会自治体は44団体中3団体とのことであった。</p> <p>また、条例の特徴としては、①町会自治会が果たしてきた役割や現状・課題などの条例制定の背景や制定の理由などを明らかにするため前文を置いている。②集合住宅における町会自治会について、住戸がおおむね100以上の集合住宅の住民は、町会自治体を組織するよう努める。また、集合住宅において町会自治体を組織する者は、その地域の町会自治会との連絡及び調整に努める。組織した後においても同様とする。③住宅供給等に関わる事業者等の取り組みについて、住宅の販売・賃貸・媒介等の事業者は、住宅を購入・賃借しようとする者に対し、町会自治会の活動に関する情報を提供するよう努める。また、集合住宅の居住者相互の交流及び集合住宅の居住者と地域住民との交流促</p>

	<p>進を図るため、町会自治体活動に関する情報を提示するための掲示板の設置などを行うといったものであった。</p> <p>八潮市加入促進事業としては、駅前バスシェルターに横断幕を設置、市民まつりへの参加、地域リーダー養成講座の開催、町会自治体運営の手引き作成、チラシの作成・配布、宅地建築取引業協会との三者協定、広報・ホームページにおける町会の紹介、市役所・駅前ロビーにおける町会加入月間PR(ポスター・チラシの掲示)、パンフレット「町会・自治会加入のご案内」作成・配布、地域活動入門講座開催、水道開閉栓時のパンフレット配布等の事業実績であった。</p>
<p>感想（まとめ） 本市へ生かせること 等</p>	<p>八潮市は平成17年に駅が建設され、都心までの時間短縮により、住宅建設、特に分譲マンションをはじめとする集合住宅の建設が進んでいる。人口は増加し、高齢化も進んでいないといった全国的にも羨ましい状況であった。</p> <p>室蘭市と状況は違えど町会自治会加入についての悩みは同様のものであった。また、学校が避難所となることから避難所運営協議会の設置や、町会自治会による会員特典を設けていることなど工夫がされていた。条例制定により加入率を押し上げるまでの即効性のあるものではないと感じたが、地道な活動を支えるものであると理解した。一方、条例を制定することにより、町会自治会活動が行政に頼ってしまう一面も質疑の中で見受けられた。今後も町会自治会への加入・参加の促進については様々な見方や受け止めなど、研究、検討をしていく必要があると感じた。</p>